LAN・CAFÉ

だより

Jan, 2024

2024年1月号

豊橋語学教育研究室

ランカフェだより１月号をお送りします

１月号の内容は盛りだくさんです。まず、文学部の Ashley 先生（English Café 担当）からご自身の誕生日秘話を書いていただきました。クリスマスがお誕生日なんて素敵ですね。また、グローバルカフェ（日本語中心）の学生さんたちから、それぞれの故郷のイチ推しや、今がんばっていること、これからやりたいことを書いていただきました。

本年度最終号のランカフェだよりもぜひ楽しんでください。

１月号の内容

表紙

I　Birthmas: What life is like when your birthday is on Christmas

Ashley Bartholomy（文学部助教・English Café 担当）

II　グローバルカフェの学生・大学院生からのメッセージ

- 私の故郷　（ハルビン市、常州市、フフホト市、杭州市のイチ推し）
- 私のやってみたいこと、あれこれ
- 私のイチ推し
- 私の研究（大学院）

裏表紙　Language Café プログラム　（2024 年 1 月分）

最後に..

秋学期のランカフェだよりにご寄稿・ご協力してくださった皆様、そしてフィードバックをくださった読者の皆様ありがとうございました。

来年度のランカフェは 4 月から再開される予定です。スケジュールも少し変わりますが、新年度もランカフェにご参加ください。

みなさん、温かくしてよいお年をお迎えください！

編集担当より

Birthmas: What life is like when your birthday is on Christmas

By: Ashley Bartholomy

Genre: Personal Story
Writing style: Casual/Humorous

Baby Ashley with her dad (Christmas, 1986)

I was born on Christmas. My parents told me that it snowed a lot the day I was born. I don't remember because I was busy being born. I was not just a regular baby; I was a Christmas present.

Many people around the world celebrate Christmas. I'm from the United States and it's common to see houses decorated with Christmas lights and shops with Christmas trees and **all sorts of** decorations. Christmas music plays everywhere you go, in malls and restaurants, and on TV and the radio. It's impossible to **escape** the **Christmas spirit**.

However, when your birthday is close to Christmas, like a few days before or after, it can sometimes feel like your birthday is **overshadowed** by the big holiday. When your birthday is on Christmas, though, well, what birthday? How could it be your birthday? Today is Christmas!

I don't mean to be **dramatic**. My family always had a birthday cake for me on my Christmas…I mean, my birthday…**oops**…I mean, my birthmas. I like calling my birthday *birthmas*. I just think it's funny. My friends sometimes say, "Happy Birthmas!" on my birthday, and I think it's **hilarious**.

Grandma, Aunt Monica, Aunt Deanna, and Cousin John lighting the candles on my birthday cake (Christmas, 1992)

Now that I'm older I **appreciate** my birthmas even more. It feels special. Having a birthday on Christmas is kind of unusual. It's one of the **rarest** birthdays. Every time I have to tell someone my birthday, people often say things like:

"Oh, a Christmas baby!"

"Wow! Christmas! Are you serious?"

"Nice. Double presents."

"That's crazy. My friend's uncle's co-worker's birthday is also on Christmas!"

When people don't say anything, it actually feels **strange** and unusual. I thought I would experience this less when I moved to Japan, but nothing has changed. People still often comment on my birthday. Some other comments I hear are:

"Your birthday is on Christmas? That's not fair! You poor thing."

"Do you actually celebrate your birthday ON Christmas? You should pick a different day!"

People really do find it shocking sometimes that my birthday is on Christmas. It's a little **weird**. After all, babies can be born any day of the year! I checked!

When it comes to gifts, I always **envied** people who got presents two times a year, especially when I was a child. I've often experienced people giving me one present and saying it is for my birthday AND Christmas. **Nowadays**, some of my friends make a point of **specifying** which **occasion** the present they are giving me is for. They say, "This is for your birthday Ashley, OK? NOT Christmas."

Ashley riding a pink tricycle on her birthday (Christmas, 1988)

To be honest, I don't mind the half-birthday/half-Christmas present thing anymore. I like my birthday and I like that it's during such a **merry** time of year. I love all the colorful lights everywhere, especially the ones at Toyohashi Station, and the zoo near where I grew up. Another bonus is people often remember my birthday because it's on a major holiday. I guess having a birthmas isn't so bad.

Happy birthday, December/January people!

Keywords:

all sorts of いろんな
escape 脱出
Christmas spirit クリスマスの陽気
overshadowed 影が薄い
dramatic 劇的な
oops うわっ
hilarious 面白おかしい
appreciate 評価する
rarest 珍しい
strange 変/見慣れない
weird 変/おかしい
envied 羨ましい
nowadays この頃
specifying 指定する
occasion 時機
to be honest 正直なところ

私の故郷－中国黒竜江省ハルビン市

Ａさん（文学部）

私は中国のハルビン出身で、ハルビンは中国の最東端であり最北端でもある黒竜江省にあります。ハルビンは、ロシアの影響を受けた建築様式や文化を反映しており、ヨーロッパ風の広場や建物が特徴的です。そのため、いくつかの通りにはヨーロッパ風の建物が見られます。観光地として聖ソフィア大聖堂があります。黒竜江省は中国では最北端にあるため、毎年１月～2 月に世界３大雪まつりとして有名な冬の大イベント氷祭りが開催されます。ハルビンの氷祭りには氷の彫刻や建築物が展示されます。特にこの冬、氷祭りの規模は紫禁城よりも大きいみたいです。ぜひ行ってみてください！

（氷祭りの写真：http://www.hrbicesnow.com/m/news_detail/439 より）

私の故郷のイチ推しー中国江蘇省常州恐竜公園と蘇料理ー

Ｂさん（文学部）

私の故郷は江蘇省常州市です。 私の故郷で最も有名な観光地は常州恐竜公園です。 常州恐竜公園は恐竜をテーマとした総合テーマパークです。 園内には中国恐竜博物館があり、恐竜の歴史、文化、科学が展示されています。 園内には恐竜をテーマにしたジェットコースター、ジャンプマシン、バンジーなど様々な乗り物もあります。 もう１つの有名な観光地は、淹城サファリパークです。 動物園は主に２つの徒歩エリアとセルフドライブエリアに分かれています。セルフドライブエリアでは、エサを購入し、車の中で動物にエサをあげることができます。

次に、常州の料理について紹介する。常州の料理は蘇料理の一種である。蘇料理は江蘇省の名物料理です。常州の名物には、干し大根、麻餅、銀絲麺などがあります。常州干し大根は、ニンジンを太陽の下で干し、塩と砂糖で漬けたもので、麻餅は小麦粉とゴマから作られ、甘い、塩辛い、塩コショウの　3 種類の味があります。

（写真：中华恐龙园图片_百度百科（baidu.com)https://www.rere.jp/beginners/19796/より）

私の故郷－内モンゴル　フフホト市－

Ｃさん（文学部）

私の出身内モンゴルは、中国にある自治区で、広大な草原と美しい自然が特徴です。首府はフフホト市で、モンゴル族が主な住民です。豊かな牧畜文化が根付く地域で、馬や羊が広がる草原で自由に駆ける姿は印象的です。伝統的なゲル（ユルト）と呼ばれる移動式の住居が見られ、モンゴルの伝統が息づいています。内モンゴルの歴史も古く、古代の経済・文化の拠点として栄えました。観光地としては、赤い峡谷や五連塔、広大なダライ・ノール湖があり、訪れる人々に自然と歴史の魅力を提供しています。

私の故郷―中国杭州市―

Ｄさん（文学研究科　大学院生）

私の地元は江南運河の終着点、中国八大古都の一で杭州市です。杭州市は古来から「上有天堂、下有蘇杭」（天上に極楽のあるように、下界に美しい蘇州と杭州がある）と賞賛されている風光明媚な景勝地です。杭州市の象徴ともいうべきは西湖です（写真）。その中で、十の景観の優れた地が西湖十景と言われています。

（季節ごとの西湖の写真：https://baijiahao.baidu.com/s?id=1768843626024665866&wfr=spider&for=pc　より）

私のやってみたいこと－韓国旅行－

E さん（短期大学部）

私は旅行に行きたいです！今最も行きたい場所は韓国です。なぜなら、私は韓国のアイドルが好きで、実際に韓国に行ってライブを見てみたいからです。日本ではライブ中の撮影が禁止されているけれど、韓国では許されているので行ってみたいです。また、私は韓国料理が好きです。韓国の本格韓国料理を食べたいです。新しい場所を訪れて異なる文化や風景を体験することは自分の視野を広げることもできるので、旅行に行きたいです。

（写真：https://aka.ms/o0ukef より）

やってみたいこと－猫になりたい－

F さん（文学部）

私たちは常に周囲の期待や社会のルールに縛られたり、他者との調和を保つために自らを犠牲にしたりして、自分自身を見失ってしまうことがあります。そんな時に私には「猫になりたい」という願いが湧いてきます。猫たちは周りの期待や制約に縛られず、窓辺で日向ぼっこをしたり、好きな時に好きなだけ寝転がったり、自分の欲望に素直に従っています。そんな自由さに心惹かれ、猫たちの穏やかな日常に憧れを感じ、猫のような自由な存在でありたいと願っています。

私のイチ推し－ハイキング－

Ｇさん（文学部）

私の一推しはハイキングです。なぜなら、ハイキングは自然を満喫する素晴らしいアクティビティで、山や森林などの美しい環境で行われるからです。新しい景色や新鮮な空気を楽しみながら、健康的な運動も得られます。挑戦もできますし、登山道やトレイルを歩きながら、自然の中での静寂や美しさに触れ、リフレッシュできます。最近は、普通のハイキングだけじゃなくて、本格的な登山も行っています。

（写真：本人撮影）

私の研究―日本の防災に関する研究－

Ｈさん（文学研究科 大学院生）

現在では外国人の防災意識が向上し、災害情報の多言語化も進んでいます。また、現場では外国人の中にも防災の力として活躍したいと思う人も多くなっています。防災の力として活躍したい外国人のため、日本の消防団の現状を調査し、消防団員としての外国人住民の力を再認識しながら、いかにその力が活用できるのかを研究し考察しています。

【グローバルカフェの活動の様子】

学期中の毎週火曜日の昼休みに 7 号館 2 階の 724 室で開催しています。

大学のこと、日本のこと、世界のことについて、楽しく日本語で話しましょう！

2024年1月
LANGUAGE・CAFÉ プログラム

EC (English Café) ：3 時限目
CF (Café Français) ：5 時限目

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10 EC Learner Led Conversational Presentations Daniel Devolin	11	12 EC Student-led Seminars Ashley Bartholomy	13
14	15 EC Reflection and Review Peter Lyons	16 CF まとめと期末テスト DUBERT Davy	17 EC Learner Led Conversational Presentations Daniel Devolin	18	19 EC Reflection and Review Ashley Bartholomy	20
21	22	23	24	25	26	27
24	28	29	30	31		

Language Café 昼休みの部 ： English Café ：月・火・水・金
Café Français ：月・金
Global Café ： 火（at723 教室）

※プログラムは変更することがあります。

LAN·CAFÉ だより 2024年1月号（第47号）

WEB版URL：
http://taweb.aichi-u.ac.jp/tgoken/kikanshi.htlm
2023年12月14日発行
発行：愛知大学豊橋語学教育研究室
〒441-8522 豊橋市町畑町1-1
TEL：(0532) 47-4170
URL：http://taweb.aichi-u.ac.jp/tgoken